

# 教員・図書委員会・地域との協働による読書意欲向上への挑戦

**学校名** 久喜市立江面小学校  
**所在地** 久喜市北青柳40-1  
**電話** 0480-21-0571

## 1 本校の概要

本校は、学級数9学級（特別支援学級2学級を含む）、児童数180名の小規模校であり、「進んで学ぶ子、仲よくいたわり合う子、健康で明るい子」を学校教育目標としている。「課題に主体的に向かい、様々な人々と力を合わせて解決し、よりよい未来を創ろうと考え行動する子」を目指す児童像とし、日々教育活動を行っている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ d 家庭や地域との連携

### (2) 実践の概要

#### ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

- ・ 教員の校内研修で、児童の選書の仕方や授業での本の活用の仕方、読書カードの指導や見届け方等、司書教諭から提案する機会を設けた。読書指導について日頃から困っていたことや疑問等を共有・解決し、児童の読書意欲を高めるための指導改善を図った。
- ・ 読書目標を低学年100冊、高学年1万ページと設定し、達成した児童には読書賞を与えている。児童は本を読み終わると読書カードに本の名前や一言感想を記入することになっているが、カードが蓄積されることに達成感を味わい、読書への意欲を高めている児童もいる。
- ・ 各学級では、児童の読書意欲を高めるために、様々な工夫のある取組を行った。多くの本を読んだ児童を称賛する掲示物を作ったり、読書目標を達成するために学級会

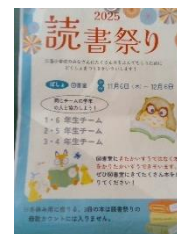
を開き読書ガチャを作ったりと、読書目標達成に向けての様々な取組が見られた。



↑学級会で話し合い作っている読書ガチャ。この中に、おすすめのジャンルや本の題名を書いたものを入れ、ガチャのように引く。

→読書の木。全員がおすすめ本を書き、それを読んだ児童が返事を書いている。

- ・ 図書委員会が、児童が本に親しむための活動を考え、実践した。（読み聞かせ、学年ごとに借りた本の冊数を対決する読書祭り、お勧め本を呼びかけるポスター作りなど）



#### イ 家庭や地域との連携

- ・ 保護者や地域の方が、月に1回、業前の時間に絵本の読み聞かせをしている。また、本市では市立図書館と連携し、お話会やブックトークを定期的に行っている。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

教員の意識が変化し、読書意欲を向上させるための指導を工夫して行うようになった。読書目標達成の児童が、例年よりも増える見込みである。

### (2) 課題

学級や児童により差がある。児童が本に対する興味を高め、自ら読もうとする働きかけの工夫が更に必要である。

### (3) おわりに

今年度の取組を更に発展させ、児童と本との関わりを増やし、読書好きの児童を育てていきたい。